

ほのぼの苑だより

題字：三浦 キミエ 様



あけましておめでとうございます
本年も宜しくお願い申し上げます

Mr. 北さんマジックショー

今期の冬にしては珍しく雪がちらついていた昨年のクリスマス前のある日曜日：彼はやってきた。彼の名はほのぼの苑ではもう御馴染み。今回で3回目の登場となるご存知ミスター北さんである。

ステージが開演するやいなや奇抜な衣装と軽快なトーク、そして見事なマジックと絶妙なBGMに入苑者の視線はもう釘づけ状態。爆笑と失笑が巻き起こる中、あつという間に閉幕。入苑者の皆さんには素敵なクリスマスプレゼントとなった。北さん、楽しいひと時をありがとう！

(七尾 健 記)



クリスマスバイキング

十二月二十二日、食堂に万国旗や大きなクリスマスツリーを飾り、今年最後の行事となるクリスマスバイキングが催されました。注目のメニューですが、ご家族の方より頂いたハタハタを姿焼き、しよつづるをメインに、寿司や海老の天ぷらなど数多くのメニューが用意され、おいしいと好評でした。特に今年のハタハタの大きさに驚かれたようで「食べ応えあるな」と話されておりました。小熊シェフによるムースやケーキも振る舞われ、沢山の笑顔が見ることが出来ました。また来年も皆さんの笑顔を見たいと思います。

(千葉 也寸志 記)



ほのぼの苑 ちよつとイイ話

「ほのぼの苑 ちよつとイイ話」
は、苑内での感動する話を紹介
するコーナーです。

ちよつとイイ話

十二月の業務日誌より

十二月十七日(日)

今日は北さんマジックショーがありました。入苑者の方は、会場では反応こそ薄かったものの、ステージに戻ってくるなり「あく、楽しかったなあ。笑った。」と皆さん声を揃えて話されていました。この声を北さんにも聞いていただきたいと思いました。



十二月十九日(火)

今日は午後から通苑者の方の忘年会を行いました。ジャンケン勝ち抜きゲーム、ピンポン玉ゲームで体を動かされた後、皆さん待ちに待った小熊シエフによるおいしいオードブルケーキバイキングを堪能され、「んめして、晩げのご飯食べなくてもいいくらいだ」と満面の笑みで帰られていました。一年の締め括りとして想い出に残る良い忘年会になったと思います。



十二月二十三日(土)

今日は十二月の誕生会がありました。キャンドル作りを行い、この時期にはびつたりの物だと思えました。経管栄養の方も化粧をし、ケーキを持ち、記念写真を撮っていました。普段出来ないことを記念日に行えるのはとても良いことだと思いました。

十二月二十九日(金)

本日、入苑者のご家族の方が、「お正月に外泊したいのですが」と外泊許可証を書いていました。本人にその事を伝えると笑顔で「んだ、よかつたなあ」と喜んでおりました。ほのぼの苑にいても家にいるような気持ちに出来るよう頑張ろうと思いました。

十二月二十六日(火)

今日、入苑者の方にカレンダーを見せながら、「今年もう終わりですよ。」と話す時、驚いた顔をして「んだ！」と話していました。私たちがとつて早く過ぎた一年だと思つていましたが、入苑者の方々にとつてもあつという間の一年だったようです。



十二月三十一日(月)

二〇〇六年もいよいよ最終日を迎えました。お正月のため自宅へ外泊された方もいらつしやいますが、年明けにまた元気な姿を見せていただけたらと思います。二〇〇七年も入苑者の皆さんにとつて良い年になるよう、私たち職員も頑張つていこうと思います。

十二月三十一日(月)

今日は大晦日で沢山の家族の方が面会にきておりました。今年一年を振り返ると、沢山の想い出がありました。来年はもっと沢山の想い出が作れるように頑張りたいです。



第九回 家族会 議事録

第九回 家族会は、十二月十七日(日)午後二時より、食堂にて行われました。

先月に引き続き、ほのぼの苑だよりにて、毎月の質疑応答に関する資料を掲載致しますので、ご参加頂けなかったご家族の皆さんもご覧ください。次回の家族会は、平成十九年二月二十五日(午後二時)から行います。

◆ 質疑応答 ◆

Q 保健所に提出した資料によると、職員への感染が少ないようですが、何か対策を行ったのですか。

A 感染症委員会があり、緊急委員会を開き、罹患者への対応、職員の対応、またそれをもれなく職員全員に伝えるため、どのような手順で行うかを話し合い対応しました。

Q 介護、看護の他に厨房の対処はどうでしたか。

A 厨房職員が罹患した場合、多数単位での感染が考えられるため、他の職員と同様にすぐに対応しました。

Q 居室が変わったら掲示板に職員の写真や名前がありませんでしたが。

A 感染性胃腸炎の影響で居室移動が多発したため対応しきれいません。早急に対応し、そのようなことがないように努めます。

Q 夜勤体制について教えてください。

A 現在の介護、看護の夜勤体制について説明。

Q 職員の離職率についてどう考えていますか。

A ほのぼの苑の離職率は、全国平均に比べても低いことを説明。また、この状況を継続するために、今後も職員研修や職員同士の話し合いを行っていききたいと思えます。

ご家族の方より

『いつも笑顔で、明るく、挨拶してくれてとても良い。』

とお褒めの言葉を頂きました。ほのぼの苑の誰もが一番に考えていることと思えます。今後もこの言葉を頂けるよう継続していきましょう。

幸福



昨年十一月の全国介護老人保健施設熊本大会に私と湖東老健 斎藤施設長、介護 佐藤の計三名が参加した際、宿泊先のホテルに到着するなり、ホテル責任者が登場し、宿泊予定の部屋が水浸しとなり、男性二名シングル二室の予約をスイートルーム一部屋に変更していただきたいとの申し出がありました。今思えばそれが最終日に起こる出来事の始まりだったのかもしれない。私と斎藤施設長の二人で利用するスイートルームはなんとも言えない空気が漂っていました。広い部屋が幸いしてか、打ち合わせや予演会を容易に行うことが出来たため、使い勝手の良い面もありました。その翌日には各会場での口演も無事終了し、発表の緊張から開放され、安堵の表情を浮かべながら、熊本の郷土料理と焼酎に舌鼓を打ち、楽しんでいました。

最終日は秋田行き飛行機が飛び立つまでの間、熊本観光を行うことになりましたが、昨夜に食べた馬刺しなのか、飲み過ぎなのか、今までに体験したことのない程の吐き気に襲われ、観光どころではない状態でした。阿蘇山を登る車は山道特有の曲がりくねった道を走り、登り切るまでの間に何度降りてしまおうかと思うほどでした。山頂から降りてくる頃には徐々に回復してきてはいましたが、その日は一食も口にすることなく、秋田への帰路につくこととなりました。秋田空港に到着した頃には体調も回復しており、到着ロビーで家族に迎えられ、秋田に無事帰れたことを嬉しく思いましたが、日中のことを考えると複雑な心境となり、色々な意味で初めてづくしの出張となりました。

ほのぼのの掲示板 夕食時間の変更のお知らせ

平成十九年一月からの業務見直しにより、夕食の時間を午後六時から午後五時へ変更いたしております。提供時間が早くなっても食の質はより良いものにしていくよう努力してまいります。なお朝食と昼食の時間は変更ありません。皆さんのご理解とご協力よろしくお願い致します。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年から引き続き、雪のない冬となっておりますが、ここまで雪が降らないといっ降ってくるのだからと心配してしまいます。今年も昨年同様、充実した内容のほのぼの苑だよりを皆さんにお届け出来るように頑張っていきたいと考えております。本年もよろしくお申し込み申し上げます。(カ)

発行



医療法人 正和会
介護老人保健施設 ほのぼの苑

〒018-1401

秋田県湯上市昭和久保字街道下 92-1

電話 018-877-7115 FAX 018-877-7481

ホームページ

<http://www.seiwakai-akita-nol.or.jp/>

編集責任者 加藤 稔樹

発行責任者 小玉 敏央